

【第20回広島湾研究集会】

－ 気候変動と沿岸海洋生物 －

日 時：2019年12月20日（金） 13:00～17:00

場 所：広島市まちづくり市民交流プラザ

共 催：一般社団法人水産海洋学会，日本水産学会中国四国支部，（研）水産研究・教育機構瀬戸内海区水産研究所，広島大学大学院生物圏科学研究科・流域圏環境再生プロジェクト研究センター，広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター，（研）産業技術総合研究所地質調査総合センター

コンピナー：吉田勝俊（水産機構瀬戸内水研），山本民次（広大院統合生命科学），柳川 建（広島総研水海技セ），高橋 暁（産総研地質情報）

挨拶：山下 洋（一般社団法人水産海洋学会長） 13:00～13:05

趣旨説明：吉田勝俊（水産機構瀬戸内水研） 13:05～13:10

話 題

- 座 長：高橋 暁（産総研地質情報）
1. 広島湾における過去40年の水温変化 13:10～13:40
村田憲一（広島総研水海技セ）
 2. 気候変動による水温上昇が瀬戸内海の藻場・藻類養殖に及ぼす影響 13:40～14:10
島袋寛盛（水産機構瀬戸内水研）
 3. 温暖化に対応したワカメ養殖手法の開発 14:10～14:40
多田篤司・棚田教生（徳島県農林水産部）
- － 休 憩 － 14:40～15:00

- 座 長：柳川 建（広島総研水海技セ）
4. 過去のデータから読み解くベントスに対する気候変動の影響可能性 15:00～15:30
－瀬戸内海環境情報基本調査データを用いた時空間変動解析－
金谷 弦・伊藤 萌・牧 秀明・横山亜紀子・越川 海・吉成浩志・中田聡史・東 博紀
（国立環境研究所）
 5. 広島湾周辺水域における浅海魚類相の変化と温暖化 15:30～16:00
坂井陽一（広大院統合生命科学）
 6. 日本沿岸域における海洋酸性化と生物影響 16:00～16:30
小埜恒夫（水産機構国際水研）

総合討論

座 長：山本民次（広大院生物圏科学）・吉田勝俊（水産機構瀬戸内水研） 16:30～17:00

閉会挨拶：山本民次（広大院生物圏科学）

開催趣旨：温暖化に代表される気候変動は国連のSDGs（持続可能な開発目標）の目標13で具体的対策の必要性が示されています。同じく目標14では海の豊かさを守ろう、として海洋と海洋資源の保全・持続可能な利用が謳われています。また国内では気候変動適応法が昨年末施行され、対策の促進が求められています。気候変動が海洋生物に与える影響は従来から研究がなされていますが、このような時期に今一度、広島湾・瀬戸内海での具体的事例を情報共有することで、これからの研究・対応策についての理解を一層深めることを考え、本研究集会を開催致します。